

2026年5月25日
西日本旅客鉄道株式会社
ハチドリソーラー株式会社

JR西日本×ハチドリソーラー 鉄道会社で日本初となる住宅向け太陽光事業を本格展開



西日本旅客鉄道株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：倉坂 昇治、以下：「JR 西日本」）及びハチドリソーラー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：池田 将太、以下：ハチドリソーラー）は、共同で進めてきた住宅向け太陽光発電事業について、実証（PoC）を経て、2026年5月25日（月）より本事業の本格展開を開始することをお知らせいたします。

本取り組みは、鉄道会社が沿線ネットワークや地域接点を活用し、住宅向け太陽光発電サービスを広域展開する国内初※の取り組みです。初期費用 0 円で導入可能な住宅用太陽光発電・蓄電池サービスを提供するとともに、沿線に暮らす一軒一軒の住宅を“小さな発電所”へと変え、地域全体でエネルギーを支え合う分散型エネルギー社会の実装を目指します。

また、JR 西日本グループが持つ沿線ネットワークや WESTER 会員基盤など、地域住民との多様な接点を活かしながら、移動だけでなく「暮らし全体」を支えるライフデザイン領域への取り組みとして、地域に根ざしたエネルギーサービスを展開してまいります。

※公開情報ベース、自社調べ（2026年5月時点）

■ 両社が今、共同でエネルギー事業に取り組む理由

JR 西日本は、これまで鉄道を中心とした社会インフラを通じて、沿線に暮らす人々の生活と地域経済を支えてきました。

一方で、人口減少やライフスタイルの変化により、地域の持続性そのものが問われる中で、鉄道会社に求められる役割も変化しています。単に「人を運ぶ」だけでなく、沿線の暮らしそのものを支える存在へと進化していくことが求められています。

また、鉄道事業は電力を大量に消費する産業でもあり、脱炭素社会の実現に向けては、エネルギーのあり方そのものに関与していくことが不可欠です。さらに、災害時における地域のレジリエンス向上という観点からも、電力を外部に依存するのではなく、地域内で生み出し活用できる体制の構築は、沿線価値の維持・向上に直結する重要なテーマとなっています。こうした JR 西日本の課題意識と、ハチドリソーラーが推進してきた分散型エネルギーの考え方が重なったことから、本連携に至りました。鉄道会社のインフラとスタートアップの機動力を掛け合わせることで、エネルギーを起点としたまちづくりの社会実装を加速させていきます。

ハチドリソーラーは、これまで初期費用 0 円モデルを通じて住宅太陽光発電の導入ハードルを下げてきました。しかし、分散型エネルギー社会の実現には、個別の導入にとどまらず、地域全体へと広げていく仕組みが不可欠です。そこで今回、沿線という広域な生活圏と強固な信頼基盤を持つ JR 西日本と連携することで、住宅単位の取り組みを“まち単位”へとスケールさせる、新たな挑戦を開始します。

■ 実証を通じて見えてきた、社会実装の現実性

両社はこれまで、広島県・山口県を対象に住宅向け太陽光発電事業の実証（PoC）を共同で実施してきました。

本実証では、初期費用 0 円モデルによる導入ハードルの低減に加え、JR 西日本が持つ沿線ネットワークと地域からの信頼を掛け合わせることで、短期間で導入検討が進むなど、分散型エネルギーの社会実装に向けた高い手応えを得ることができました。

こうした成果を受け、本取り組みは事業化が決定し、2026 年 5 月より本格展開を開始します。あわせて、これまでの広島県・山口県に加え、新たに岡山県を対象エリアに追加し、より広域での展開へと拡大します。

■ 事業概要

本取り組みは、単なる太陽光発電の普及ではなく、エネルギーを起点としたまちづくりの実装です。各家庭が発電主体となることで、地域全体で電力を支え合う構造をつくり、災害時にも強いレジリエンスを備えたまちへと進化させます。また、エネルギーの地産地消は地域内での経済循環を生み出し、持続可能な沿線価値の創出にもつながります。

<対象エリア>

- ・ 広島県
- ・ 山口県

・岡山県

<提供サービス>

・初期費用0円ではじめられる住宅向け太陽光発電・蓄電池サービス

<特設サイト>

<https://jr-west-solar.westjr.co.jp>

また、沿線の駅を起点としたプロモーションを展開し、地域住民の皆さまに向けてサービスの認知・理解を促進してまいります。

■ 住宅から街へ、分散型エネルギーの社会実装を加速

両社は、今回の広島県・山口県・岡山県での本格展開を起点に、住宅向け太陽光発電の普及をさらに加速させます。今後は住宅単位での導入にとどまらず、エネルギーを起点としたまちづくりへと展開していきます。その一環として、環境省の「脱炭素先行地域」に採択されている兵庫県豊岡市への展開も視野に入れ、地域全体でエネルギーを生み出し、支え合うモデルの構築を目指します。その実現に向けて、ハチドリソーラーは現在、家庭用エネルギーマネジメントシステム（HEMS）の開発を進めています。各家庭が“使う側”から“エネルギーをコントロールする主体”へ。住宅から街へと広がる、新しいエネルギーのあり方を実現していきます。

さらに将来的には、JR 西日本グループが保有する駅や沿線ネットワーク、地域との接点を活かし、移動・暮らし・エネルギーが一体となった次世代の地域インフラづくりにも挑戦してまいります。鉄道事業で培ってきた地域とのつながりを基盤に、持続可能でレジリエンスの高い地域社会の実現に貢献していきます。

■ JR 西日本からのコメント

鉄道会社を取り巻く環境が変化する中で、JR 西日本には移動だけでなく、地域での暮らしそのものを支えていく役割が求められていると考えています。今回の取り組みは、ハチドリソーラーの持つ再生可能エネルギー領域での高い専門性と、JR 西日本が沿線で培ってきた地域とのつながりを掛け合わせることで、新たな沿線価値の創出に挑戦するものです。住宅一軒一軒がエネルギーを生み出す存在となり、それらが地域全体でつながっていくことで、持続可能で災害にも強い地域社会の実現につながると考えています。今後は、駅や沿線ネットワークも活かしながら、エネルギーを起点とした新たな地域インフラづくりへと発展させてまいります。

西日本旅客鉄道株式会社

専務執行役員 デジタルソリューション本部 ビジネスデザイン部長 藏原 潮

■ ハチドリソーラーからのコメント

今回の取り組みは、単なる住宅向け太陽光発電の普及ではなく、「地域のエネルギーのあり方そのものを変えていく挑戦」だと考えています。

これまで日本のエネルギーは、大規模な発電所で作って、遠くから届ける形が中心でした。しかし今後は、各家庭や地域が自らエネルギーを生み出し、支え合う分散型エネルギー社会への転換が必要だと感じています。

特に広島・山口・岡山エリアは、全国的にも日照条件に恵まれた地域である一方、住宅太陽光の導入にはまだ大きな余地があります。初期費用や情報格差、施工への不安など、地域によって導入ハードルが存在している現実もあります。

今回、JR 西日本様と連携することで、沿線という広域な生活圏と、地域に根差した強い信頼基盤を活かしながら、これまで届けきれなかった方々にも太陽光という選択肢を広げていけると考えています。

また、WESTER 会員基盤をはじめとする沿線生活者との接点を活かし、"移動"だけでなく、"暮らし"の選択肢として自然エネルギーを提案できることにも、大きな可能性を感じています。

私たちは今後、住宅一軒一軒を小さな発電所へ変え、それらが地域全体でつながることで、災害時にも強く、持続可能な地域インフラを実装していきたいと考えています。

ハチドリソーラーはこれからも、「自然エネルギーが主電源の未来」を目指し、地域からエネルギーの未来を変えてまいります。

ハチドリソーラー株式会社 代表取締役社長 池田 将太

西日本旅客鉄道株式会社について <https://www.westjr.co.jp/>

会社名：西日本旅客鉄道株式会社（本文中表記：JR 西日本）

所在地：大阪市北区芝田二丁目 4 番 24 号

設 立：1987 年 4 月

資本金：226,136 百万円

代 表：代表取締役社長 倉坂 昇治

事 業：モビリティ業/流通業/不動産業/旅行・地域ソリューション業/その他

ハチドリソーラーについて <https://hachidori-denryoku.jp/solar/>

会社名：ハチドリソーラー株式会社

所在地：東京都新宿区市谷田町 2-17 八重洲市谷ビル 10F

設 立：2022 年

資本金：1,000 万円

代 表：代表取締役社長 池田 将太

事 業：個人向け 0 円ソーラー事業（リース/販売）、0 円ソーラーフランチャイズ事業、企業向け太陽光発電事業（PPA/販売）

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 7 番、13 番に貢献するものと考えています。

https://www.env.go.jp/policy/sdgs/guides/SDGsguide-siryo_ver2.pdf



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

